

2018 東京「障害」児教育研究集会

10月20日(土) 会場 ラポール日教済

受付 9 時 30 分
開会 10 時

共に学び共に育つ教育を進めるために

I 午前の部 (10:00~12:30)

開会行事

第 6 8 次日教組教研報告

分科会

今回は報告の場をひとつとします。当事者、保護者、教員など様々な視点から、地域で共に学び育ち、生活をつくっていくために必要なことは何かを話し合います。

<報告予定>

枠を広げて考える

～特別支援教室の立ち上げを通して～

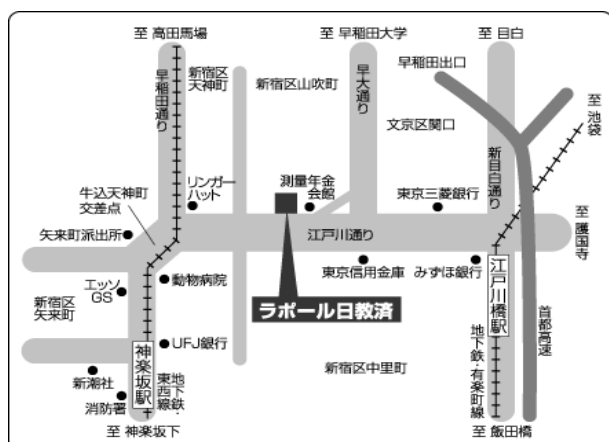
(佐谷修・杉並区立三谷小学校)

特別支援学校で学ぶ子どもたち

(鈴木孝夫・多摩桜の丘学園)

「高校」に行くということ

(仲兼久遊美・保護者)



- ・ JR 線(有楽町・市ヶ谷・池袋)から地下鉄有楽町線(江戸川橋駅)2 番出口より徒歩 6 分
- ・ JR 線(大手町・飯田橋・高田馬場)から地下鉄東西線(神楽坂駅)矢来町方面出口より徒歩 5 分

II 午後の部 (13:30~16:30)

映画 「風は生きよという」

講演 海老原 宏美 さん



<プロフィール>

1977 年川崎生まれ。1 歳半で脊髄性筋萎縮症 (SMA)、3 歳までの命と診断される。小学校から高校まで地域の通常学級に通学し、01 年 3 月に東洋英和女学院大学人間科学部を卒業。

2001 年より東京都東大和市で自立生活を開始し、自立生活センター東大和で障害者の地域生活に関わる権利擁護・相談支援活動等をはじめ。02 年より人工呼吸器を使い始める。

現在、自立活動センター東大和理事長、人工呼吸器ユーザーの地域生活支援を進める「呼ネット」副代表、東大和市地域自立支援協議会副会長、DPI 日本会議理事等をつとめている。

インクルーシブ教育にも深い関心をと関わりをもち、障害当事者、保護者、市民と共に「東大和市教育プロジェクト」や「東京インクルーシブ教育プロジェクト」などの団体をつくり、インクルーシブ教育実現に向けて運動を進めている。

今回上映する映画「風は生きよという」にも企画・出演。好きなものは旅と日本酒。モットーは「できるかできないかではなく、やるかやらないか」。

主催：都障労組 東京教組

(03) 3223-8616

(03) 5276-1311